

絵にまつわる
卒業生の仕事

芸工生の職種はあれこれ色々ありますが、今回は「絵」に関する仕事をご紹介します。



小児病院のICU（集中治療室）入口の壁画。一番最初の壁画。



上/毎年出しているカレンダーのイラスト。
右/病院で使える英単語アプリのイラストを担当。

見ればふっと気持ちながさみ、自然と笑みがこぼれる。永利さんのイラストはどれもやさしくてあったかい。それはそのまま描き手の人柄であるだけじゃなく、描くことで誰かを「ほっこり笑顔」にしたいという祈りがつまっているからだと思う。永利さんは芸工在学中に小児病棟の装飾・壁画制作に携わり、今も小児病院や保育園の壁画やサインなどを手がける。診察室の扉や白い壁に描かれた動物たちは、無機質な空間をいきいきと彩り物語の世界へ誘う。温かな絵の向こうに、子どもたちの不安や心細さに寄り添う永利さんの姿が見えるような気がする。



永利 紀美子さん ◆ 壁画・イラスト etc

2期生。視覚情報デザイン学科(伊藤研・鈴木研)卒業。印刷会社勤務を経て、病院での壁画制作やデザイン・イラストレーターの仕事をはじめ。http://kemekofactory.net/



加藤 智幸さん ◆ パース・イラスト etc

3期生。生活環境デザイン学科(溝口研)卒業。株式会社カムー http://www.camoo.co.jp
個人のイラストサイト camo-illustrations.tumblr.com
info@camoo.co.jp

パースをメインに、ビジネス向けの「絵」全般の制作をしています。プレゼンテーション用の絵が多いので一般の目に触れることはほとんどありませんが、仕事のスパンがとても短いので毎回刺激に満ちています。以前はアナログ作業の内容でしたが時代に合わせて今はほとんど全てデジタル作業になりました。時間短縮のために手描き仕事でも3Dソフトを多用したりしますが、3Dのモデリングでも事前に自分の手で絵を描いてイメージを膨らませる作業をします。最近ではクロッキーやスケッチ会に参加してアナログ表現の勉強をしたりしつつ、最新の3D事情を仕入れて絵の表現の幅を増やそうとしています。



上/手描き水彩風という依頼で冊子掲載用の海外ウェディング会場。数点の現状写真から大体の寸法を採り、制作。中/ダーツバー新店舗イメージパース。下/スーパーのドレッシングコーナーの新規提案用イメージ。担当者のスケッチやイメージ写真より制作。



sasanomaly (ササノマリイ)「戯言スピーカー」のMV(ミュージック・ビデオ)。手描き、コマ撮り、CGのさまざまな手法を用い、映像に出てくる60個以上のマッチのデザインも担当。



関電工のCM。キャラクターのデザインとアニメーションを担当。



NHK「100分 de 名著」アニメーション。

The GFs, SUPER SMOOTHのMV。

芸工卒業後、'06年からチェコのアート大学UMPRUMのTV&Film Graphic学科でドローイングアニメーション、パペットアニメーションを学ぶ。卒業後、東京藝術大学映像研究科アニメーションコースに入学。'10年Eallin Japan創設メンバーとして、現在までドローイングアニメーションを中心に、PV/モーショングラフィック/TVグラフィックなども幅広く手掛る。作家年鑑『映像作家100人2014』に掲載される。



牧野 惇さん ◆ アニメーション・映像

7期生。視覚情報デザイン学科卒業。有限会社イアリンジャパン
http://eallin.jp/
atsushi@eallin.jp



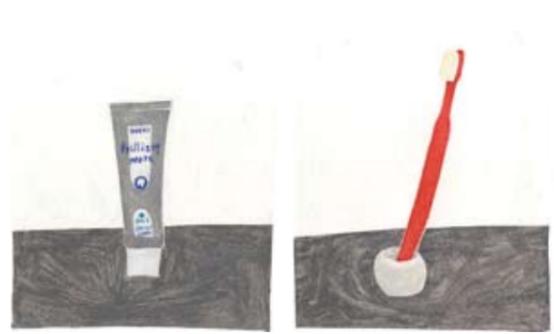
守田 真子さん ◆ スケッチ・文章 etc

8期生。生活環境デザイン学科(三上研)卒業。MAKO.pen&paper
http://makopenandpaper.wordpress.com/
mako.penandpaper@gmail.com

心地よい空間や魅力的な人、おいしいものに、ウキウキうっとり、きらきらワクワク。五感をフルに使って吸収した情報を、彼女はさらさらと紙の上に表現していく。スケッチやイラスト、文章…と仕事によって表現するものは変わっても、そこには建築や人のあるべき姿を追及する熱っぽさが見え隠れする。芸工卒業後、タスマニア大学大学院でグリーンアーキテクチャなどを研究し、帰国した守田さん。今は、イラストや翻訳などで身を立てつつ、あれこれ夢想し画策している模様。今後、何を生業としていくにせよ、きっと心地よい空間や魅力的な人、おいしいものに囲まれているに違いない。



上/長野市で古い空き家をリノベーションして、暮らしたり働いたりしているひとたちのスケッチ・ドキュメンテーション(写真をとるようにスケッチで時間や空気感を記録する)シリーズの一枚。下/建築や都市計画専門の学芸出版社の月刊WEBマガジン「学芸カフェ」に掲載されている「レシビでつながる世界の景色」。レシビ交流は文化交流として、いろんな国出身の友達から教えてもらったレシビコレクションを掲載。



題「洗面用具」歯科医院待合室におけるディスプレイ作品。



リトルプレス『Shuku Shuku vol.3』のよしもとばななさん寄稿エッセイ「仕事って」の挿絵、ページデザインを担当。

堀端さんのイラストには、シンプルな色や線の中に、おっとりとした時間や詩的な雰囲気がある。身近にある、何気ないようで、日々の生活を支えてくれるモノたちへの、思い入れがそこにあるからだろうか。堀端さんはオイルパステルのエッジングを活かした画法で制作を行い、2013年からイラストレーターとして活動を開始。都内の古書店数店舗にて、作品をまとめた冊子『MY OBJECT』が販売中で、2015年1月中旬には、表参道 OPAgalleryにて初個展を開催予定。



堀端 麻央さん ◆ イラストレーション

14期生。デザイン情報学科(藤井研)卒業。パレットクラブスクールイラストコース16期修了。http://horihatamao.com
post@horihatamao.com

芸工同窓会より
おしらせ。

同窓会では卒業生や先生方、在校生の親睦を図る活動をしています。ぜひ皆さんご利用を!

同窓会 活動助成を利用ください

より www.sda.nagoya-cu.ac.jp/dousoukai/content/subsidy.html

皆さまの社会的活動の支援を目的として、活動助成(助成金制度)をおこなっています。展示やパフォーマンス、イベント、親睦会など、様々な活動の一助としてご活用いただければ幸いです。応募の詳細は同窓会サイトの活動助成のページをご参照ください。ご応募お待ちしております。

同窓会 クロストーク・オープントークに協力をお願いします

より <http://geikou.jp/>

同窓会では、在校生と卒業生の交流を深めるとともに、在校生の皆さんの進路選択や就職活動の参考にさせていただくため、いくつかの事業を実施しています。

クロストーク事業では、在校生が卒業生に仕事などについてインタビューした記事を、随時web(geikou.jp)上で紹介しています。オープントーク事業では、大学と共催で、卒業生を大学にお招きし、仕事や就職活動の話などを在校生にさせていただいています。

これらの活動に協力いただける方を随時募集しておりますので、「後輩のためなら、一肌脱ぐぜっ」「かわいい子(女子限定)からならインタビュー受けてもいいよー」「うちの会社に芸工生リクルートしたいかも」なんて方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご一報いただけるとありがたいです。

◆ 住所変更等の連絡のお願い

同窓会では、会報のほか大学関連のイベントのご案内を郵送しています。住所変更等がございましたら、お手数ですが、同窓会事務局までご連絡ください。

◆ twitter & facebook やってます!

芸工や卒業生関連の情報をときどき発信しています。フォロー＆「いいね!」をよろしくお願いします。

twitter @geikoudousoukai

facebook <https://www.facebook.com/geikoudousoukai.kenkoukai>